

在宅医療介護連携圏域会議事業 【企 画 書】

平成29年2月

NPO法人釜石・大槌地域医療連携推進協議会

医療連携及び医療介護連携の現状・方向性

- 釜石保健医療圏域における医療連携及び医療介護連携は、平成25年度に整備した『かまいし・おおつち医療情報ネットワーク(通称: OKはまゆりネット)』を活用し積極的に推進することとしている。
- 平成28年4月には、OKはまゆりネットの安定的な運営を図るため、圏域内の医療・介護関係団体の協力を得て特定非営利活動法人釜石・大槌地域医療連携推進協議会を設立。

OKはまゆりネットの現状と課題

現状	課題
<p>【事業所加入状況】※H29.1末現在</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 加入事業所数 80事業所(前年比+1、-2) ○ 加入率 医療機関(病診業) 82.8% 介護事業所 47.9% 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 加入事業所数が伸び悩んでいる。 ※-2は事業所廃止による減 ◆ 特に加入率の低い介護事業所及び新規開設の医療機関の加入促進に向けた掘り起こしが必要。
<p>【システム利用状況】※H29.1末現在</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 診療予約件数 320件 (前年同期比87.4%) ○ 患者紹介件数 1,158件 (前年同期比118.5%) ○ システム利用率 全体26.3% <ul style="list-style-type: none"> ・病院、医科診療所 90.9% ・歯科診療所、薬局 0% ・介護事業所 13.0% 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ システム利用件数が全体的に伸びており、特に病院・医科診療所では利用が浸透している。 ◆ 一方、介護事業所や歯科診療所、薬局での利用率は非常に低い状況にあり、更なる利用促進が必要。

※システム利用率は、加入医療機関等のうち1年間に1回以上「診療予約機能」または「患者紹介機能」を利用した加入医療機関等の割合

OKはまゆりネットの課題解決の方向性

課題

課題解決の方向性

事業概要

・ 加入事業所の伸び悩み
・ 利用状況の偏り



医療介護連携の必要性や「OKはまゆりネット」の利便性・役割等の理解が充分に得られていないのではないか？

★医療介護連携の必要性やOKはまゆりネットの持っている『価値』を圏域内の医療機関等に周知し理解していただき、加入・利用促進を図る必要がある。

⇒未加入介護事業所に対する医療介護連携の必要性及びOKはまゆりネットの役割や活用例等について普及啓発及び加入促進

⇒医療機関等に対するOKはまゆりネットの機能及び利便性、活用例の紹介により利用促進

◎「OKはまゆりネット・ガイドブック(仮)」の作成

・圏域各医療機関等に対する普及啓発用及び加入促進のため冊子を作成

・特に医療介護連携の要にも係らず加入率、利用率ともに低い介護事業所を意図し、「医療介護連携」の必要性や「実際の活用方法」、「FAQ」、「加入方法」などを紹介。

・作成にあたっては、圏域内の関係団体の協議により内容検討。関係団体の理解の促進を図る。

・作成した冊子は圏域内の全事業所に配布(※4月以降)

「OKはまゆりネット・ガイドブック(仮)」作成事業(案)

項 目	内 容
事業内容	<ul style="list-style-type: none">●普及啓発用冊子作成<ul style="list-style-type: none">・仕様:A4版4色摺8P(中綴じ)・部数:400部【内訳】<ul style="list-style-type: none">未加入医療機関用 140部(予備含む)加入医療機関用 260部※冊子版のほかPDF版も作成●作成検討会開催<ul style="list-style-type: none">・内容 掲載内容の協議等(病院、行政機関も参加)・回数 2回
事業期間	契約日～平成29年3月31日
事業費	159千円
その他	※冊子の配布等はH29年4月以降に実施